

公開シンポジウム

公開シンポジウム I

教師教育と教育学研究の新たな課題

【シンポジスト】

高野和子（明治大学）

岩田康之（東京学芸大学）

大関達也（兵庫教育大学）

【企画・司会】

船寄俊雄（神戸大学）

山下晃一（神戸大学）

【趣旨】

素朴な疑問から本シンポジウムを立ち上げたいと思う。素朴な疑問とは、本学会に集う多くの会員が日夜取り組んでいる教育学研究の営為と成果が、教師教育にどのように活かされているのかということである。教育学研究は教師教育にのみ奉仕する学問でないことは言うまでもないことであるが、会員の多くが勤務する大学は、教育学研究が行われる場であると同時にその成果を教育する場であり、そのことを通して教師になりゆく者を育てる場でもある。したがって、教師教育と教育学研究の関係は、本学会にとっては重要事であり、過去の学会大会や諸委員会の活動においても、『教育学研究』のバックナンバーを見ても、教師教育にまつわる類似のテーマを含めて繰り返し問われてきたところである。

今回このテーマを取り上げる理由は、それが本学会にとって依然として重要なテーマであると考えからにはほかならないが、それだけではない。今このテーマをめぐる何が進行しており、どこへ向かおうとしているのかということをも明らかにしたいという焦りにも似た思いがある。1980年代半ば以降今日まで、教育系大学・学部を中心に「開放制」のもとで教員資格を取得させているすべての大学・学部は大きな変動の波に翻弄されたが、現実には教師教育政策に対応するのが精一杯で、一つ一つの事態を何も総括しないままに現在に至っている。この一連の歴史的過程をしっかりと総括する視点を欠いては教師教育と教育学研究の未来は展望できないはずである。例えば、教育系大学・学部の教育学研究科が教職大学院に模様替えされているが、その改革の行方はどう展望できるのだろうか。小学校教員養成事業に新規参入する私立大学は「教育学者なき教育学部」であるとの言説に接するが、実態はどうなっているのだろうか。教育学研究者を供給してきた旧制大学系大学院も大きく変化しているが、それは教師教育と教育学研究の関係をどのように変えていくのだろうか。

本シンポジウムでは、このような具体的な話題を取り上げながら、今日の教師教育と教育学研究が置かれている状況を歴史的な視座から冷静に分析したい。登壇者は、高野和子氏（明治大学）、岩田康之氏（東京学芸大学）、大関達也氏（兵庫教育大学）の3氏である。

公開シンポジウム

公開シンポジウムⅡ

多国籍化する日本の社会と教育

【シンポジスト】

志水宏吉（大阪大学）

落合知子（神戸大学）

金光敏（「Minami こども教室」代表）

仁ノ内智（神戸市立室内小学校、前神戸市教育委員会・学校教育課・人権教育担当）

【指定討論者】

吉富志津代（名古屋外国語大学）

【企画・司会】

渡邊隆信（神戸大学）

川地亜弥子（神戸大学）

【趣旨】

1970年代末以降、日本に居住することになった外国籍の人々は、それ以前に日本に居住していた在日韓国・朝鮮人や中国人（オールドカマー）との対比で一般にニューカマーと呼ばれ、グローバル化の進展とともに、その数を増やし続けている。彼らの存在は日本の産業や福祉の分野にも深く浸透し、今後の少子高齢化社会を想定すると、社会における彼らの役割は増大していくことが予想される。一方で、外国籍の子ども、あるいは国際結婚や帰化により日本国籍は有するが外国にルーツを持つ子どもを、家庭、学校、社会のなかでいかに養育し教育するかは、その重要性に鑑みると、制度的にも実践的にも十分な対応がなされているとは言えない。

本シンポジウムでは、日本社会への同化や排除ではなく、ニューカマーもオールドカマーも含めた外国にルーツを持つ子どもたちと一緒に未来の平等で公正な社会を構築していくために、彼らを含むすべての子どもたちにどのような教育が提供されるべきかを、多面的に考えたい。その際、以下のような論点が想定されるであろう。ニューカマーの子どもを学校でどう受け入れ、何をどう教育するのか。幼小中高大の学校間連携や職業への接続はどうなっているのか。彼らの学習を学校外でどう支援するか。その際、オールドカマーへの教育の蓄積はどのように活かされるのか。外国にルーツを持つ子どもを含むすべての子どもが多様な人々と共に生きることをどのように学ぶべきか。そうした教育に携わる教員の養成や研修はどうあるべきか。さらには、行政による支援の現状と課題は何か。そして、非常にすそ野の広い当該分野を研究するために、どのような方法論と課題意識が求められるのか。

こうした学校内外の広範囲にわたる問題を議論するために、シンポジストとして志水宏吉氏（大阪大学）、落合知子氏（神戸大学）、金光敏氏（「Minami こども教室」代表）、仁ノ内智氏（神戸市立室内小学校、前神戸市教育委員会）の4氏に登壇いただく。加えて、吉富志津代氏（名古屋外国語大学）を指定討論者に招き、フロアを交えた議論の口火を切っていただく予定である。